

第14回全国地方議員交流研修会報告書

平成29年7月24日

貝塚市議会議長 田中 学 殿

自由市民 食野 雅由
田畑 庄司
田中 学

[開催概要]

日 時 第1日：平成29年7月18日（火）13：30～17：30

全体会合

- ・ 記念講演 亀井 静香 衆議院議員
- ・ 特別報告 逢坂 誠二 衆議院議員
- ・ 特別報告 吉田 勝廣 沖縄県政策調監他
- ・ 問題提起 山本 正治 実行委員

第2日：平成29年7月19日（水） 9：30～12：30

分科会討論

- ・ 第1分科会「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか、
打開に向けた自治体の課題」
- ・ 第2分科会「PFI・コンセッション。新たな民営化で
地域経済は活性化するか」
- ・ 第3分科会「地方財政の危機をどう打開するか」
- ・ 第4分科会「地方自治体・地方議会からアジアの平和と
共生に取り組む」
- ・ 第5分科会「首長交代！豊かに暮らせる地域をめざし、
国にもの申す自治体をつくる」

全体会合 13：30～15：30

第3日：平成29年7月20日（木）

夕張市視察 10：00～14：30

会 場 於北海道自治労会館

主 催 第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

第1日

我が会派3名は、貝塚市の庁舎建て替へと、様々な財政軽減の一助のための深い知識を得るため、この研修会に参加しました。先ず、記念講演として亀井 静香衆議院議員の講演がありました。冒頭から10分遅れで研修会が始まり、進行のまずさがうかがえました。講演の内容は、亀井氏の主眼から、トランプ大統領の出現による、保護主義政策の台頭が国際情勢に悪影響をもたらしてきていると懸念を抱かれています。そして国内情勢は、現在の自民党一強の政党批判から始まり、労働組合については組合幹部が役員への登竜門になっていて組織の弱体化がすすんでいると批判されていました。続いて朝鮮半島問題に話に移り、拉致問題を抱えている日本は、話し合いで北朝鮮と仲良くしていくことが重要ではないかと話され、会場では賛同する人もいました。しかし我々は、北朝鮮の交渉の相手はアメリカでしかないという事実を理解しているので、現実を全く受け入れない考えには相容れない立場であると強く感じました。また、韓国の慰安婦像の問題については、いくらでもやって干渉しないほうが良いといわれていました。これについてもいささか異論を感じるところであります。次に、共謀罪については、その必要性を話されていました。そのとき会場の参加者から異論を訴える野次があり、それに亀井氏も反論し、一時会場は陰悪なムードになりました。そのときからこの研修会は我々が想像していたものと違うと感じました。その後国会の諸問題（森友、加計問題）の話があり講演は終了しました。



会場の北海道自治労会館



記念講演の亀井静香衆議院議員

その後、特別報告として逢坂 誠二衆議院議員の話がありました。内容は、政権に対し批判的な立場から、国会運営、特に共謀罪の採決のあり方や三権分立のあり方などの話がありましたが、我々にとっては聞くに値しないものと感じました。

続いて、吉田 勝廣沖縄県政策調監から沖縄の米軍基地、特に辺野古への基地移設の問題について、反対の立場をあらゆるもので正当化されていました。確かに米軍基地は沖縄に多く点在し、沖縄の負担になっているのは事実として承知しているが、日本の安全保障を考えると、沖縄は戦略的拠点であるので、憲法上国軍をもてない日本にとって負担をかけざるを得ないことを理解して頂きたいと思いました。その後辺野古基金のカンパ協力依頼がありました。これについては、研修会の中でよくも自分たちの活動資金集めをできるものだと驚きました。

次に、山本 正治実行委員から問題提起がありました。内容は、トランプ政権の誕生で、世界政治が激変し、日本は大きく揺さぶられるようになる。その中で中国敵視をやめて、隣国として共存共栄していく。又朝鮮半島情勢には緊張化に反対し、危険を回避する。又、知事、市長の市政が重要であるので、首長交代をしていくというような問題提起がありました。このような資料は事前に送付がなく当日配布であり、イデオロギーの大きな違いに唖然としました。その後、事務連絡があり第1日は、違和感を持って終了しました。

第2日

研修会第2日目は、それぞれのテーマに分かれての分科会でした。我々は、貝塚市の庁舎建替問題に関する知識を向上させる目的で臨みました。先ず、北海道内7空港（新千歳、稚内、釧路、函館、女満別、旭川、帯広）の一括民間委託に向けた取組みの状況説明がありました。次に、大阪市水道局の民営化、民間委託化に対する反対の立場からの説明がありました。続いて、PFIについての説明がありました。国の指針等に対し、問題点や、国からの押し付けであるなどのマイナスの説明が多く、我々が期待していた賢い活用法や、より良い結果を生み出すノウハウなどは無く、とても残念でした。続いて、参加者全員から、質問、意見、感想を述べることになり、我々3名と同じ立場で参加していた泉大津市議会の丸谷議員と共に、立場を明確にして不満であるという感想をそれぞれ述べました。その後、第2分科会の総意として声明を採択することになり、我々のあきらめムードの中、分科会は終了しました。



第2分科会会場



全体会合

昼食後、まとめとしての全体会合があり、各分科会の報告がありました。この中で、我々が参加した第2分科会の声明文を参加者全体の総意として活用していくための採択が提案され、会場の中から民営化も良いところがあるのでこの内容はおかしいと意見が出されましたが、主催者側は巧妙にできた文章をもとに問題をすり替えて採択されました。我々は、もちろん違和感があったので、拍手を一切せずに反対の意思表示をすることにしました。次に、全体の締めくくりのような挨拶があり終了しました。

第3日

この日は、財政破たんをした夕張市の視察でした。8時30分にバスで札幌を出発しましたが、タイムスケジュールの配分が悪く、交通渋滞など一切ないのに予定を大きく超過していました。会場について～夕張市議会議長の現状と課題についての説明があり、その後夕張市長の挨拶がありました。



夕張市議会議長の厚谷司氏



鈴木直道夕張市長

その後、2か所の市内視察とありましたが予定が変更され、旧北炭夕張炭鉱模擬坑道のみ
の視察となりました。しかも時間が15分程度で説明もなく、各自歩いて見るだけの視察
となりました。これについては、最初から感じていた主催者の段取りの悪さが、最後に顕著
に表れたものと思いました。



旧北炭夕張炭鉱模擬坑道



泉大津市議会の丸谷・林両議員と

昼食後、道の駅に立ち寄り、夕張市に対する経済支援をする行程となっていましたが、
ここでも時間が15分に短縮され、究極の段取りの悪さが表れていました。その後新千歳空
港に到着し、3日間の研修会は終了しました。

今回の研修会に参加して、誠に残念ながら得るものは何もありませんでした。しかし、
我々と違った考えの人たちの中で貴重な体験をできたのが、せめてもの収穫であったと思
うことを自分に言い聞かせて報告と致します。